

田川市石炭・歴史博物館のご案内

令和5年度 春季 田川市石炭・歴史博物館 山本作兵衛コレクション原画企画展

ヤマの風景

—— ヤマの絵・写真が伝えるもの ——

なつかしい風景が、そこにある

かつて、筑豊では多くの炭坑が稼行していました。しかし、1960年代には石油の輸入自由化の影響もあり、筑豊では1976年、貝島大之浦炭礦の閉山をもって終焉を迎えました。炭坑が次々と閉山するなか、山本作兵衛翁は炭坑記録画を描きました。また、橋本正勝氏は写真でヤマの風景を記録しました。

現在では一変したヤマの風景を、懐かしんでみませんか・・・



▼写真：橋本正勝



会期

2023年4月25日(火)～5月21日(日)

会期中の休館日：5月1日・5月8日・5月15日(すべて月曜日)

会場

田川市石炭・歴史博物館
2階 第2展示室

開館時間

9時30分～17時30分 (入館は17時00分まで)



◆博物館スタッフのおすすめ◆ Vol.10

今回は企画展のテーマでもある「ボタ山」について紹介します。

ボタ山とは、「ボタ」と呼ばれる質の悪い石炭や、岩石を廃棄してできた山のことで、ボタの他にも、ボイラーの燃えカスなども捨てていたため、よく自然発火していました。

ちなみに、炭坑節の歌詞に「ひとやま ふたやま みやま 越え」とありますが、これは香春岳のことを歌っています。博物館からは、その香春岳の手前にボタ山を見ることができます。

これは三井田川鉱業所の夏吉六坑のボタ山で、田川に残る最後のボタ山です。最初のうちは黒かったのですが、現在は木が生えて緑色になっています。



田川市石炭・歴史博物館

〒825-0002

福岡県田川市大字伊田2734番地1(石炭記念公園内)

◆TEL/FAX：0947-44-5745 ◆入館料：一般400(280)円、高校生100(70)円、小中学生50(30)円※()は20人以上の団体料金

◆見学時間：9:30～17:30(入館は17:00まで)

◆休館日：毎週月曜日 ※月曜日が休日の場合は火曜日、火曜日以降も休日が続く場合は連休終了日の翌日

田川市石炭・歴史博物館 検索



公式YouTubeチャンネル



博物館の活動



教育普及

令和4年度 たがわゼミナール

田川地域を中心とした歴史や文化財に関する講座を開催しています。令和4年度は『文化財』をテーマに、田川市民会館にて計7回の講演が行われました。



夏休みKidsイベント2022

毎年夏に小中学生を対象としたイベントを行っています。令和4年度は勾玉づくり、石炭を使用したキャンドル&モビール、人形浄瑠璃ミニ体験が行われました。



ぐるっと田川!! 秋の観光文化フェス

キッチンカーや石炭で動くミニSL、人形浄瑠璃など、大人から子供まで楽しめるイベントがありました。また、蒸気機関車59684号は2022年に製造100周年を迎えました。



文化財保護

倉ヶ原遺跡速報!

くらがはらいせき

倉ヶ原遺跡は推定田河道（官道：古代の幹線道路）から約120m南の標高約36～37m台地にあります。2022（令和4年）度に検出した柱穴跡は、径約1.3mの隅丸方形や円形です。柱穴跡の並びから総柱掘立柱建物跡です。このような建物は、倉庫と捉えられています。倉庫は古代の法律（倉庫令）で、標高が高く乾燥した所、周囲に池渠を開くこと、倉庫以外の建物を置いてはならないと定められていました。1987（昭和62）年の調査歴と合せると、倉庫群に合致しています。今後も調査を重ねて、古代の田川を明らかにしていきます。



▲掘立柱建物跡イメージ図

※問合せ先：田川市石炭・歴史博物館（0947-44-5745）

※詳細については、田川市石炭・歴史博物館ホームページにて随時お知らせします。

田川市石炭・歴史博物館

〒825-0002

福岡県田川市大字伊田2734番地1(石炭記念公園内)

- ◆TEL/FAX：0947-44-5745 ◆入館料：一般400(280)円、高校生100(70)円、小中学生50(30)円※()は20人以上の団体料金
- ◆見学時間：9:30～17:30(入館は17:00まで)
- ◆休館日：毎週月曜日 ※月曜日が休日の場合は火曜日、火曜日以降も休日が続く場合は連休終了日の翌日

田川市石炭・歴史博物館 検索



公式YouTubeチャンネル